



## 犬のフン問題！地域で解決 ペットと暮らす 住みよいまち

### 犬のフンにイエローカード

桔梗が丘8番町1区自治会 自主防犯グループ「ほっと歩きたい」  
自主防犯グループ運営委員長 久保 栄次郎さん(左)  
8番町1区自治会 区長 橋本 健三さん(右)



**自**主防犯グループとして「ほっと歩きたい」は、10年前に発足しました。月に14回ほどを平均7人で地区内のパトロールを続けています。メンバーには、定年後に地域デビューをした男性も多く参加しているのが特徴です。パトロールでは、地域の安全はもちろん、公園や道路の点検、街路樹の剪定、ごみ拾いなどの環境美化活動やパトロール中に見つけた課題も皆で話しあって解決しています。



その中で、回覧板などでマナーを守るように注意しても、なかなかならないペットのフン放置に対して、なんとかできないかと意見が上がりました。

そして、昨年11月から、他市の事例を参考にしながら、放置場所にカードや旗をおいて監視する「犬

のフン・イエローカード作戦」をパトロールの中に組み込むことにしました。

**フ**ンを見つけたときに置いて、飼い主に自主的に持ち帰るように促します。約1週間後のパトロールで、設置したカードは回収し、フンが残っている場合は一緒に取り除きます。

カードの設置で飼い主には、自分が放置したこと、そしてみんなが見ているよということを感じてもらいたいですね。落ちているごみもかなり少なくなりました。犬のフンも、最終的にカードを置かなくてもいいようになればと思っています。



自治会で作成したイエローカード。フン放置の場所にテープで設置

### ワンワンパトロール

すずらん台4区自治会 自治会長 井上 裕さん

**4**区自治会の役員が中心となり、月に2回パトロールをしています。すずらん台地域の中でも、4区は、公園や広場、空き地が多い所です。自治会では、犬のフンが放置されていることを問題とし、ごみ拾いと環境美化活動を兼ねて、パトロールを8年前から取り組んでいます。



ペットのマナーを呼び掛けたゼッケンをつけ、平均5~6人で地域周辺を歩きます。フンは、人通りが少なく、人目がつきにくいところによくされます。特に、暗くなるのが早い冬の時期は、放置されることが多くなりますね。

放置されたフンは見つけ次第回収しています。また、散歩中の飼い主に会ったときは、「フンの処理をお願いしますね」と声を掛けて、マナー向上を呼び掛けています。

**パ**トロールが抑止力になるのか、以前に比べたら、ごみやフンの放置は少なくなり、地域はきれいになってきたと思います。継続して活動することの大切さを感じています。



### ペットには愛情をもって

放置されたフンは、自然と土に返るとか肥料になると勘違いしている人もいますが、フンの中にはサルモネラ菌や寄生虫などが含まれていることもあります。「面倒くさい」と軽い気持ちで放置するのはやめてください。市では、フンの放置で困っているという人や区・自治会に、啓発看板をお渡ししたり、集団注射のときや広報などでもマ

ナーを呼び掛けたりしています。

フン放置以外でも、鳴き声や放し飼いの苦情や、首輪が外れて逃げ出した迷い犬を保護するケースもよくあります。こうした、トラブルは、飼い主の責任で解決できると思います。登録や狂犬病予防注射(年1回)も飼い主の義務です。しっかり愛情を持って終生飼育してほしいですね。



環境対策室 環境保全担当 室長 藤野 泰司